

令和7年度版

工事歩掛要覧

〈建築・設備編〉

令和7年度版の刊行にあたって

本書は、公共建築工事における設計・積算・施工管理の基礎資料として、必要な施工歩掛や基準類を体系的にとりまとめたものです。初版の刊行以来、官公庁やコンサルタントなどの発注機関、設計・監理業務に携わる多くの実務者の皆様に広くご活用いただいてまいりました。

近年、我が国の公共事業および建設産業を取り巻く環境は大きな転換期を迎えています。働き方改革の推進や週休二日制の定着、建設キャリアアップシステム（CCUS）の普及に伴い、工期設定や労務管理の在り方も見直しが求められています。さらに、「公共工事の入札および契約の適正化に関する法律」（入契法）、「建設業法」および「公共工事の品質確保の促進に関する法律」（品確法）が、いわゆる「新・担い手3法」として改正された関係法令のもと、持続可能で健全な建設業の実現に向けた制度整備が進展しています。

また、令和6年度からは、BIM/CIMの原則適用、カーボンニュートラルを見据えたGX（グリーン・トランスフォーメーション）の推進といった、建設現場のデジタル化・脱炭素化に向けた取り組みが一層加速しています。これに伴い、資材価格・労務費の変動、施工技術の進展、環境配慮型の設計・施工の普及など、積算に必要とされる基準や手法も複雑化・高度化しています。

こうした状況の中で、品確法に基づく「発注者の責務」は一段と重視されており、市場実勢や施工実績に基づいた予定価格の設定、合理的で透明性の高い積算方式の導入が求められています。また、入契法においては、ダンピング防止を目的とした見積内訳の提出義務化など、価格の妥当性確保に向けた取り組みが進められています。

営繕工事においても、「営繕積算方式」や「入札時積算数量活用方式」の定着に加え、各府省庁での「統一基準」の運用が徹底されており、地方自治体に対しても「全国主幹課長会議」や「公共建築相談窓口」を通じた周知・指導が行われています。さらに、災害対応やインフラ老朽化対策の重要性が高まる中、緊急工事における迅速かつ確かな積算対応が求められており、積算技術のさらなる精緻化と基準の適切な運用が不可欠です。

そこで本書においては、公共建築工事標準仕様書、公共建築改修工事標準仕様書、建築工事標準詳細図、公共建築設備工事標準図などを踏まえた公共建築工事積算基準、公共建築工事共通費積算基準、公共建築工事標準単価積算基準、公共建築工事積算基準等資料、公共建築数量積算基準、公共建築設備数量積算基準等の最新の内容を充実させ、「令和7年度版」として刊行する運びとなりました。公共建築工事積算研究会参考歩掛りや営繕積算システム等開発利用協議会歩掛り等についても掲載しています。

本書が、企画・設計・積算・施工管理・検査等に携わる多くの皆さまにとって、日々の業務の一助となり、工事費の適正な積算に資することを願っております。

令和7年7月吉日

経済調査会 積算研究会

本書の利用にあたって

【本書の構成】

本書は総論，建築工事編，電気設備工事編，機械設備工事編から構成されています。

総論 工事費の積算，工事費の構成等，工事費，積算内訳書

建築工事編 公共建築工事内訳書標準書式に則った構成

電気設備工事編 共通工事，電力設備工事，通信・情報設備工事，改修工事

機械設備工事編 共通工事，空気調和設備工事，自動制御設備工事，給排水衛生設備工事，改修工事

【利用上の注意】

歩掛表 各建築工事の積算において利用されている一般的，標準的な歩掛を取り上げています。

① 表番号，タイトルに特に注記のない歩掛は「公共建築工事標準単価積算基準 令和7年版」の「標準歩掛り」に準拠しています。

表示例

表番号 ↓ タイトル ↓

表・建・1-1 仮囲い (1m当たり)

名 称	規 格	単 位	高 さ (m)		摘 要
			3.0	2.0	
仮 囲 鉄 板 丸 パ イ プ 修 理 費 普 通 作 業 員 費 雑 費 他 そ の 他	$t=1.2\text{mm}$ $W=500\text{mm}$ $\phi 48.6$	枚 m	2.1	2.1	仮設資材賃料
			9.36	6.24	
		人	一式	一式	労務費×0.08
			0.24	0.19	
			一式	一式	

- (注) 1. 表中の施工手間は，設置65%，撤去35%の割合とする。
2. 雑費は，ハンマ，ラチェットレンチ，脚立，足場板，フックボルト，クランプ等の費用とする。
3. 仮囲鉄板にイメージアップのための塗装等が設計図書等に明示された場合は，必要な費用を計上する。
4. 「その他」の率対象は，普通作業員，雑費とする。

② 表番号、タイトルが白抜き文字で表示された歩掛は「公共建築工事積算研究会参考歩掛り 令和7年版」,「営繕積算システム等開発利用協議会歩掛り令和7年版」等を表示します。

表示例

表番号		タイトル				
↓		↓				
表・建・14-14		壁見切縁		白抜き表示 (1m当たり)		
名 称	規 格	材 料 (m)	内装工 (人)	その他	摘 要	
壁 見 切 縁	アルミ製 厚12mm	1.0	0.03	一式		
	塩化ビニル製 厚12mm	1.0	0.027			

(注) 「その他」の率対象は、壁見切縁、内装工とする。

③ 表番号、タイトルが白抜き数字で表示され、なおかつ「市場単価」の表示があるものは、現在、市場単価方式に移行した歩掛を表示します。

表示例

表番号		タイトル				
↓		↓				
表・電・1-1-8		線び類②		白抜き表示 (1m当たり) ■は市場単価		
名 称	規 格	2 金 属 線 び	雑材料	電 工	その他	摘 要
		m		人		
2 種 金 属 線 び (MM2)	A型 40×30mm	1	一式 (材料価格 ×0.02)	0.09	一式	
	B〃 40×40 〃	1		0.11		
	C〃 40×45 〃	1		0.12		
	D〃 45×30 〃	1		0.11		
	E〃 45×40 〃	1		0.12		
	F〃 45×45 〃	1		0.13		

- (注) 1. ボックス吊金物等は別途計上する。
2. 「その他」の率対象は、電工とする。

機 械 運 転 他 建築工事の機械化に伴って各種の算定式が必要とされ、そのため本書においても随所に掲載しています。

単 価 表 一部参考として単価表を掲載しています。この表中の空欄には現場条件により材料等の規格を選定し、また「月刊 積算資料」,「季刊 建築施工単価」等の刊行物を参照し、単価を代入して利用してください。

主 要 目 次

総 論	1
-----------	---

【建築工事編】

建築工事の積算について	73
1 仮 設	75
2 土 工	103
3 地 業	121
4 鉄 筋	125
5 コンクリート	131
6 型 枠	137
7 鉄 骨	145
8 既製コンクリート	153
9 防 水	159
10 石	173
11 タイル	183
12 木	203
13 屋根およびとい	207
14 金 属	213
15 左 官	223
16 建 具	231
17 塗 装	243
18 内外装	265
19 仕上ユニットほか	273

20	排 水	279
21	構内舗装	287
22	植 栽	299
23	とりこわし	307
24	建築改修	323

【電気設備工事編】

電気設備工事の積算について	347
1 共通工事	353
2 電力設備工事	394
3 通信・情報設備工事	442
4 改修工事	459

【機械設備工事編】

機械設備工事の積算について	477
1 共通工事	483
2 空気調和設備工事	609
3 自動制御設備工事	651
4 給排水衛生設備工事	654
5 改修工事	687

【付録】

1 公共工事設計労務単価について	733
2 共通費（一括発注工事）の算定例	745
3 関数電卓の操作手順例	759

詳細目次

総 論

1 工事費の積算	3	⑦ 現場実態を反映した共通費（共通仮設費、現場管理費）の算定および条件明示	28
① 積算の手順	3		
2 工事費の構成等	5		
3 工 事 費	6	3-2 共通費（基準）	29
① 数値の取扱い	6	① 共通費の区分と内容	29
② 新たな追加の工事等の取扱い	6	② 共通仮設費の算定	32
③ 工事の一時中止に伴う増加費用	6	③ 現場管理費の算定	34
3-1 直接工事費	8	④ 一般管理費等の算定	34
① 単価および価格の算定	8	⑤ 共通費の算定式	35
② 単価および価格に関する数値の取扱い	10	3-3 共通費（資料）	41
③ 営繕工事における週休2日促進工事の実施に係る積算方法等の運用について	11	① 共 通 事 項	41
④ 歩 掛	16	② 共通仮設費	44
⑤ 設計変更時の取扱い等	19	③ 現場管理費	48
⑥ 実勢価格や現場実態を的確に反映した単価および価格の設定	19	④ 一般管理費等	50
		[共通費の計算例]	51
		4 積算内訳書	62
		5 請負代金額の記載方法	69

建築工事編

建築工事の積算について	73		
① 材料価格等	73	② 下請経費等	74
1 仮 設	75		
① 共通仮設	76	(2) 外部足場	82
(1) 歩 掛	76	(3) 内部足場	88
(2) 参考資料	78	(4) 安全・養生	92
② 直接仮設	80	③ 運 搬	98
(1) やり方、墨出し、養生・整理清掃後片付け、地足場	80	④ 算 出 例	101

2 土 工	103
① 機 械 運 転	106
② 根 切 り	109
③ す き と り	110
④ 床 付 け, 杭 間 ざ ら い	110
⑤ 埋 戻 し, 盛 土	111
⑥ 積 込 み	112
⑦ 建設発生土処理 (不用土処理)	112
(1) 構内敷均し	112
(2) 構外処理	112
⑧ 建設発生土運搬	113
⑨ 人 力 土 工	119
⑩ 土工機械運搬	119
⑪ 山 留 め	120
3 地 業	121
① 既製コンクリート杭杭頭処理	121
② 既製コンクリート杭杭頭補強	122
③ 砂利地業, 床下防湿層敷き等	123
4 鉄 筋	125
① 鋼材 (異形鉄筋)	126
② 加工・組立	126
③ ガス圧接	128
④ 鉄 筋 運 搬	128
5 コンクリート	131
① コンクリートの種類	132
(1) 生コンクリートの種類	132
(2) 単 価	132
(3) 構造体強度補正	132
② コンクリート打設	133
6 型 枠	137
① 型 枠	139
② 型 枠 運 搬	141
③ 特殊型枠その他	141
7 鉄 骨	145
① 鋼材 (形鋼, 鋼板等)	146
(1) 数 量	146
(2) スクラップ控除	146
(3) スリーブ, その他	146
(4) 鋼材単価	146
② 歩 掛	147
8 既製コンクリート	153
① コンクリートブロック積	154

9 防 水	159
(1) メンブレン防水	159
(2) 非メンブレン防水	160
① アスファルト防水	161
(1) 仕 様	161
(2) 歩 掛	165
② 伸 縮 目 地	169
③ 成形緩衝材	169
④ シーリング	169
10 石	173
① 見 積 り	174
② 材 料	174
(1) 分 類	174
(2) 取付金物	178
③ 花こう岩張り	179
④ 大理石張り	180
⑤ テラゾブロック張り	181
11 タ イ ル	183
① 材 料	184
(1) タイル	184
(2) 張付けモルタル	188
② 工 法	190
③ タイル下地および各工法の留意点	194
④ タイル材料価格	195
⑤ 数量および費用区分	195
⑥ 歩 掛	196
(1) 一般事項	196
(2) 床タイル張り	196
(3) 外装壁タイル張り	198
(4) 内装壁タイル張り	201
(5) 内装壁モザイクタイル張り	202
12 木	203
① 内装木工	204
13 屋根およびとい	207
① 金属板葺き	208
② ルーフドレン	208
③ 雨 ど い	208
14 金 属	213
① 鉄製下地	214
② 既製金物	219
15 左 官	223
① 床, 幅 木	224
② 壁	226
③ そ の 他	229

16 建 具	231
16-1 木製建具	231
① 歩 掛	231
16-2 金属製建具	233
① 一般事項	233
(1) 分 類	233
(2) 運搬と取付け	233
② 歩 掛	234
16-3 ガ ラ ス	236
① 材 料	238
② ガラス材価格	239
③ 工法, 労務	239
(1) ガラスのはめ込み方	239
(2) ガラス工	239
④ 歩 掛	239
(1) 一般事項	239
(2) 各種ガラス取付け	240
(3) ガラス清掃	242
(4) ガラスとめ材	242
17 塗 装	243
① 作業工程 (参考)	244
② 歩 掛	249
③ 改修工事	256
18 内 外 装	265
① 歩 掛	266
19 仕上ユニットほか	273
① 歩 掛	274
20 排 水	279
① 歩 掛	280
21 構内舗装	287
① 一般事項	288
② 機械運転・運搬	289
③ 歩 掛	290
22 植 栽	299
① 一般事項	299
② 歩 掛	300
③ 機械運転・運搬	306

23	とりこわし	307
①	一般事項	308
②	歩掛	308
	(1) 適用条件	308
	(2) 留意事項	308
24	建築改修	323
24-1	改修工事での単価の補正	324
①	執務状態による積算上の分類	324
②	執務並行改修の単価の補正	324
	(1) 改修工事の積算に用いる単価の種類	324
	(2) 改修工事の積算における単価の適用	325
24-2	仮設	326
①	屋上防水改修	326
③	機械運転・運搬	313
④	とりこわし材運搬	314
⑤	算出例	319
②	外壁改修	327
③	内部改修	328
24-3	撤去	331
①	歩掛	331
②	機械運転	342
③	撤去材運搬	343
24-4	外壁改修	344
①	歩掛	344

電気設備工事編

	電気設備工事の積算について	347
①	材料価格等	347
	(1) 一般機材	347
	(2) 大型機器	347
②	搬入費、調整費	347
③	下請経費等	348
④	電気設備工事の積算上の注意点	349
	(1) 共通工事	349
	(2) 電力設備工事	350
	(3) 通信・情報設備工事	351
	(4) 改修工事	351
1	共通工事	353
1-1	配管工事	353
①	電線管	353
②	電線管の電線収容数	356
③	電線管の規格	359
④	金属ダクト	360
⑤	ケーブルラック	360
⑥	線び類	361
⑦	防火区画貫通処理	363
⑧	延焼防止処理	363
⑨	プルボックス・位置ボックス	364
⑩	ボンディング・位置ボックス用ボンディング	366
⑪	配管吊金具	367
1-2	配線工事	369
①	600V絶縁電線	369
②	600V絶縁ケーブル	370

③ 600Vポリエチレンケーブル	372	⑩ 光ファイバケーブル	385
④ 高圧架橋ポリエチレンケーブル	373	⑪ 導 入 線	388
⑤ 高圧電力ケーブル端末処理	374	⑫ バスダクト	388
⑥ 低圧耐火ケーブル	375	⑬ ライティングダクト	389
⑦ 高圧耐火ケーブル	377	1-3 接 地 工 事	390
⑧ 制御用ケーブル	378	① 歩 掛	390
⑨ 屋内通信線	379	1-4 塗 装 工 事	392
⑩ ボタン電話ケーブル	380	① 歩 掛	392
⑪ 耐熱ケーブル・警報用ケーブル	381	1-5 機器搬入費, 土工事, コンクリート	
⑫ 構内ケーブル・着色識別ポリエチレン		工事	393
ケーブル	382	① 機器搬入費	393
⑬ LAN用ケーブル	383	② 土 工 事	393
⑭ 同軸ケーブル	383	③ コンクリート工事	393
⑮ マイクロホン用コード	384		

2 電力設備工事 394

2-1 電 灯 設 備	394	⑤ 高圧開閉器その他	424
① 配線器具その他	394	⑥ 工 事 材 料	425
② LED照明器具	402	2-5 電力貯蔵設備	427
③ 照明制御器	408	① 直流電源装置	427
④ 誘 導 灯	409	2-6 架 空 線 路	429
⑤ 開閉器箱・分電盤	412	① 建 柱	429
2-2 動 力 設 備	415	② 腕 金	430
① 制 御 盤	415	③ 支 線	431
② 電動機その他接続材	416	④ 架線・屋外用電線	432
③ 電動機・電極その他結線	418	⑤ 引込用電線	433
2-3 雷保護設備	419	⑥ 変 圧 器	434
① 歩 掛	419	⑦ 保安開閉器	435
2-4 受変電設備	421	2-7 地 中 線 路	436
① 受 配 電 盤	421	① 地 中 管 路	436
② 変 圧 器	422	② 地中埋設標, 埋設標識シート	439
③ 高圧進相コンデンサ	423	③ 接地抵抗測定	440
④ 直列リアクトル	423		

3 通信・情報設備工事 442

3-1 構内交換設備	442	3-4 テレビ共同受信設備	451
3-2 情報表示・拡声設備	445	3-5 監視カメラ設備	454
3-3 誘導支援設備	449	3-6 火災報知設備	455

4 改修工事	459
4-1 改修工事での単価の補正	459
(1) 改修工事の積算に用いる単価の種類	459
(2) 改修工事の積算における単価の適用	459
4-2 撤 去	461
4-3 機 器 搬 出	473
4-4 はつり工事	473

機械設備工事編

機械設備工事の積算について	477
① 材料価格等	477
(1) 一般機材	477
(2) 大型機器	477
② 搬入費，調整費	478
③ 下請経費等	478
④ 機械設備工事の積算上の注意点	479
(1) 共通工事	479
(2) 空気調和設備工事	480
(3) 自動制御設備工事	480
(4) 給排水衛生設備工事	480
(5) 改修工事	481
1 共 通 工 事	483
1-1 配 管 工 事	483
① 鋼 管 類	484
② ステンレス鋼鋼管類	522
③ 排水用鋼管類	527
④ 遠心力鉄筋コンクリート管	529
⑤ 銅 管	530
⑥ 樹 脂 管	531
⑦ 鋳 鉄 管	537
⑧ 鉛 管	537
⑨ 冷 媒 管	538
1-2 配管附属品	540
① 一般弁類	540
② 伸縮管継手・フレキシブルジョイント等	541
③ 計 器 類	542
1-3 保 温 工 事	543
① 配管保温	543
(1) ポリスチレンフォーム	543
(2) ロックウール	555
(3) グラスウール	568
② 機器類保温	581
③ 弁 類 保 温	582
④ ダクト，保温外装	588
1-4 塗装および防錆工事	593
① 配 管	593
② 機 器 類	595
③ ダ ク ト	595
④ 文字標識等	596
⑤ 防 錆 工 事	596
1-5 機器搬入費	598
① 計 算 方 法	598
(1) 基準単価	598
(2) 補正率	599
1-6 総 合 調 整	600
① 歩 掛	600

1-7 土 工 事	602	② そ の 他	604
① 歩 掛	602	1-9 ポンプ類	606
1-8 コンクリート工事・その他	603	① 歩 掛	606
① コンクリート工事	603		
2 空調調和設備工事	609		
2-1 ボイラ等および附属機器設備	609	② コーナーボルト工法ダクト（低圧）	634
2-2 冷凍機設備	614	③ スパイラルダクト	636
2-3 空調調和機設備	617	④ その他ダクト，附属品	638
2-4 ダクト設備	627	2-5 弁装置類	644
① アングルフランジ工法ダクト	628		
3 自動制御設備工事	651		
① 歩 掛	651		
4 給排水衛生設備工事	654		
4-1 衛生器具設備	654	② インバート桝	668
4-2 給 水 設 備	657	③ そ の 他	674
4-3 排 水 設 備	660	4-5 給 湯 設 備	678
4-4 桝 類	662	4-6 消 火 設 備	681
① た め 桝	662	4-7 厨房機器設備	684
5 改 修 工 事	687		
5-1 改修工事での単価の補正	687	⑥ 衛生器具撤去	719
（1）改修工事の積算に用いる単価の種類	687	5-3 機 器 搬 出	721
（2）改修工事の積算における単価の適用	687	5-4 はつり工事	721
（3）改修工事における配管工事	687	① 手 は つ り	722
5-2 撤 去	689	② 機械はつり	724
① 新 設 補 正	689	5-5 配管工事（改修）	726
② 保温撤去（ポリスチレンフォーム）	690	① 配 管 工 事	726
③ 保温撤去（ロックウール）	698	② 配管分岐工事	726
④ 保温撤去（グラスウール）	707	5-6 ダクト工事（改修）	729
⑤ ダクト類，その他保温撤去	716	① 歩 掛	729
		5-7 桝類（改修）	730
		① 歩 掛	730

付 録

1 公共工事設計労務単価について	733
① 公共工事設計労務単価について	733
② 公共事業労務費調査の概要	734
2 共通費（一括発注工事）の算定例	745
① 建築工事が主たる工事の場合の算定例	746
② 電気設備工事が主たる工事の場合の算定例	750
③ 機械設備工事が主たる工事の場合の算定例	754
3 関数電卓の操作手順例	759
①-1 共通仮設費率（新営建築工事）	760
①-2 共通仮設費率（改修建築工事）	761
②-1 現場管理費率（新営建築工事）	762
②-2 現場管理費率（改修建築工事）	763
③ 一般管理費率（建築工事）	764